HOP, STEP, JUMP in 標津

萌える海と大地　さわやか交流郷

12

No.454／2004

広報しべつ

「青春時代がよみがえる…」

町商工会女性部(神内朝子部長)主催の「住民チャリティ・我が青春歌鑑賞会」が十一月七日、町文化ホールで開かれました。昨年に引き続き二回目の開催。地元バンド「スーパー木下バンド」の生演奏と復刻版のCDで、昭和四十年代にはやった歌謡曲やポップスのリクエストがあった四十曲を次々と披露。曲目は「恋の季節」や「想い出の渚」「ブルー・シャトウ」「小さなスナック」など。リクエストでは、その曲にまつわる当時のエピソードも披露され、百三十人の参加者はビールやワインを片手に自分たちの青春時代にタイムスリップしたように懐かしく耳を傾けていました。なお、このチャリティの収益金六万六千七百七十五円は、町社会福祉協議会に寄付されました。

特集「標津町エコ・ツーリズム」

協働の取り組みで成果を挙げてきた「エコ・ツーリズム」

標津町エコ・ツーリズム交流推進協議会(会長・千葉元町観光協会会長)では、本町の豊かな自然・景観や、これと共存して発展してきた漁業と酪農の基幹産業などの地域資源を活用した滞在型体験観光事業「標津町エコ・ツーリズム」に取り組んで今年で四年目になります。

今年も東京や京都、滋賀県など本州から多くの修学旅行生が本町に滞在しているほか、日帰りツアー客も多く訪れ、好評を得ています。

そこで今月号では、これらの受け入れの実績やスタッフの手応えなどを取材しました。

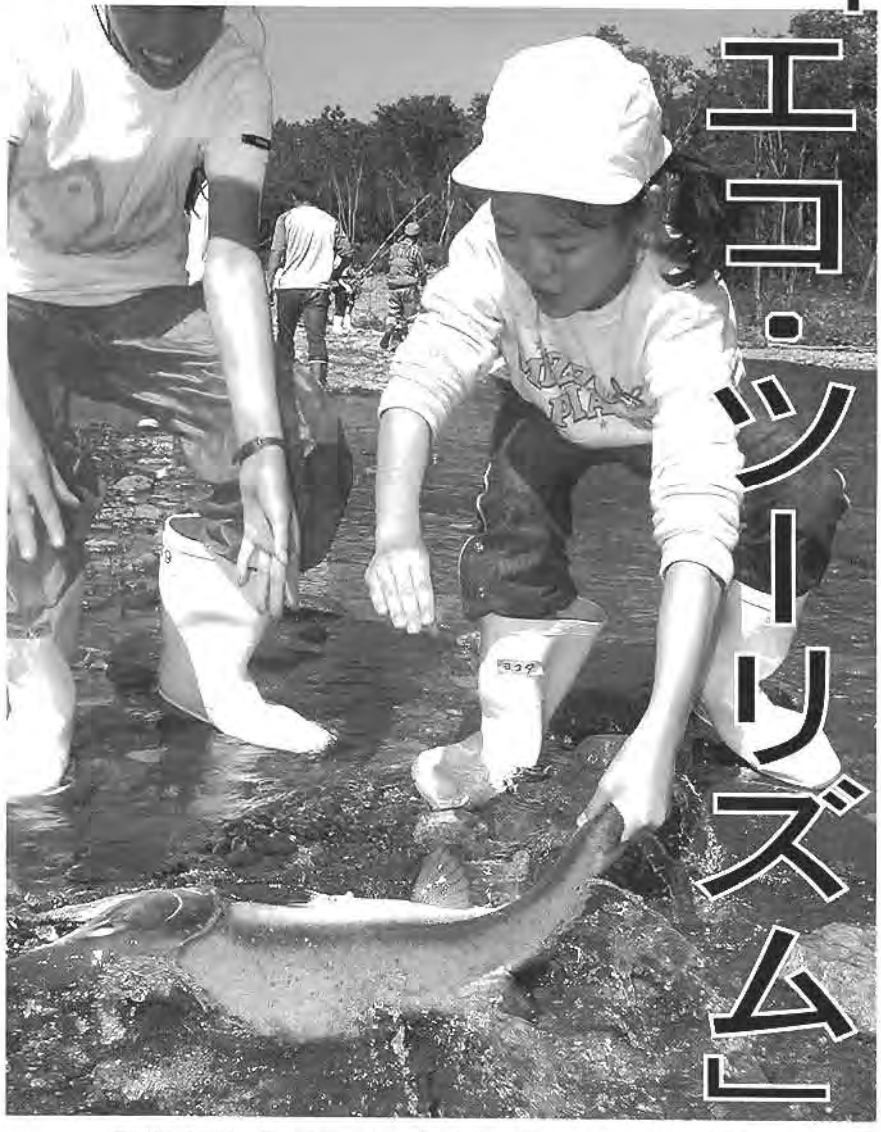
これまでの経過

通過地点だった標津町…

標津町エコ・ツーリズム」の取り組みは、「本物、安全・安心」な水産物を消費者に提供しようと平成十二年から全国に先駆けてスタートした「標津町地域HACCP(ハサップ)」システムの実践現場を消費者に知ってもらおうと、漁業者など町内の水産業者による「マリン・ツーリズム」を実施したことが出発点。その後、町内の産業経済団体などと町が協働して取り組んできました。

今までは、毎年多くの観光客が道東に訪れていましたが、本町に宿泊する観光客は少なく、通過地点になっていたのが現実でした。

それを本町に滞在してもらうため、豊かな自然環境を活かした基幹産業の漁業と酪農の生産現場や文化・歴史などの地域の資源を活用した、滞在型の体験観光の振興や地場産品の消費拡大などに町を挙げて取り組むことを目的に「標津町エコ・ツーリズム交



忠類川でのサーモンフィッシングで大物のカラフトマスを釣り上げ、感動する京都聖母学院小学校の児童（9月10日）

流推進協議会」が設立されました。

協議会は、町、漁協、農協、商工会、観光協会、旅館組合など町内の関係団体で構成。町を挙げてみんなで取り組むことで、関係団体との連携を強化し、さまざまな体験プログラムを実践していこうというねらいがあります。

◇ ◆ ◇

受け入れにあたっての取り組み

ボランティアガイドを養成

受け入れにあたっては、具体的な体験指導や案内など町の魅力を広く紹介する重要な役割を果たすボランティアガイドを養成するため、「町ガイド協議会」（川畑喜美子会長）が発足。毎年講師を招いて「ガイド養成講座」などを開催。最初の年は三十五人だったガイドが、現在は七十六人に増えています。

さらに、宿泊客を迎えるホテルや旅館では、客のもてなしのレベルアップを図るため、「標津もてなしステップアップ100推進委員会」（吉田初子代表）を発足。チェックマニュアル百項目について、各項目が達成されているか専門業者による立ち入りの診断を実施しているなど受け入れ体制の充実に努力しています。

◇ ◆ ◇

受け入れ実績

修学旅行で本州から7校が宿泊

今年はメインとなる修学旅行で、本州から七校の小、中、高校生、合わせて四百五十五人（教師を含む）が宿泊（下の「実績」参照）。延べ宿泊人数に換算すると千百七十九泊にもなります。

エコ・ツーリズムを取り組んだ一年目（平成十二年）、二年目と比べると大幅な宿泊者の増となっています（左の「グラフ3」参照）。これは、本町での体験プログラムや新鮮なサケ、ホタテなどの地元の食材をフルに使った食事が評価され、連泊する学校が増えていると言えます。来年は今年の実績より二校多い九校の小、中、高校生から合わせて八百二十人（千五百四十四泊）の予約がすでに入っている状況です。

このほかの宿泊では、忠類川でのサーモンフィッシングで今年は延べで三千泊にも。

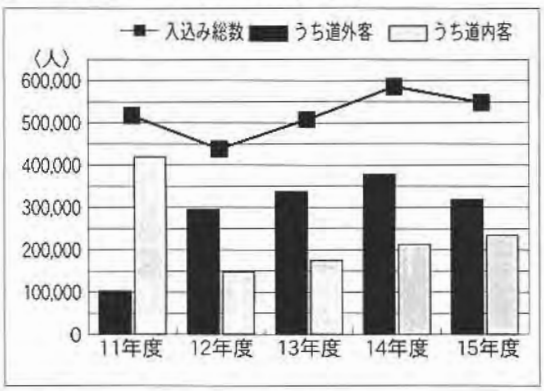
また、日帰りツアー客も実人員で一年目・百十八人、二年目・四百三十四人、三年目・三千八百六十人、四年目の今年・五千五百四十一人と大幅な増加に。昨年から始めた標津漁協市場や町内の食堂での「食体験ツアー」にも人気が集まり、地元の飲食店が「何とか町に立ち寄ってもらおう」と力を合わせて取り組んでいる成果と言えます。

本誌七月号（今年）に掲載した「標津町における観光消費の経済波及調査」結果からは、エコ・ツーリズムなどの取り組みによる町の観光消費の経済効果は十三億三千万円にものぼるとされています。

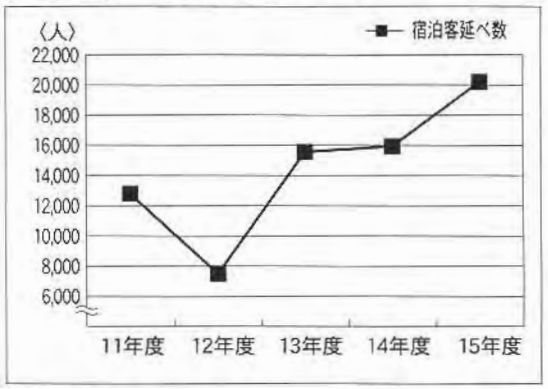
今年の修学旅行受け入れ実績

▷岐阜県伊自良中学校
…50人・1泊2日（5月）
▷京都聖母学院小学校
…168人・4泊5日（9月）
▷東京都武蔵野中学校
…41人・1泊2日（9月）
▷山梨県御坂町中学生派遣
…30人・3泊4日（8月）
▷東京都立教小学校（8月）
…40人・3泊4日（8月）
▷滋賀県八日市高校
…80人・2泊3日（9月）
▷神奈川県湘南学園高校
…46人・1泊2日（10月）

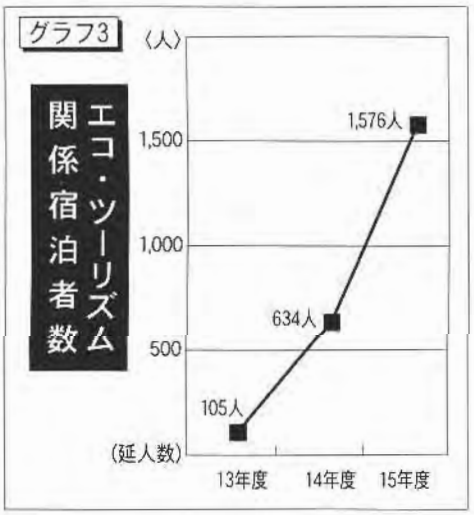
グラフ1 観光入込み客数



グラフ2 観光宿泊者



グラフ3 エコ・ツーリズム関係宿泊者数



※グラフはいずれも本町の数字。町の「観光入込み調査」より

「エコ・ツーリズム」スタッフに聞く…

着実に成果を挙げてきている「標津町エコ・ツーリズム」の取り組み―。この取り組みを支えているのが、町民による多くのスタッフの皆さん。

そこで、ガイド・旅館・漁業者・酪農を代表して四人に、これまでの手応えや感想、今後の課題などを聞きました。

◇ ◆ ◇

生産現場を見られることはよい刺激に

――これまで取り組んできた手応え、感想は。

花房　正直言って、最初のころはガイドとして何をどうしたらいいのか戸惑いがありました。今はとにかく皆さんに「楽しんでもらおう」と努力しています。子供たちの喜んだ顔を見ると、『ガイドをやってよかったなあ』とつくづく思い、こちらも子供たちとふれあうことで逆に楽しませてもらっているんですよ。

吉田　私たち旅館組合では、宿泊するお客さんに安心して受け入れられるように百項目のチェックマニアルの診断を受けるなど、一丸となって取り組んできました。お陰様で町内のホテル、旅館は潤っています。これからも宿泊者を受け入れている私たちの責任は重大だと思っています。

富森　サケの荷揚げ見学で『ハサップ』の現場を見てもらうことは漁業者としてもよいPRになり、また見られている緊張感もあっていいですね。特に子供たちに見てもらうことで、その家族にも口コミで広まりますから。

福地　酪農体験は本格的には今年から始め、子供たち百二十人(二校)を九軒の酪農家で受け入れました。子供たちは最初、表情に固さがありましたが、自分たちの手で牛にえさをやるとみんな笑顔で、「受け入れて良かった」と思いました。仕事場を見られることは、環境美化にも努めなければならないので、酪農家にとってもよい刺激になったはず。酪農のことを少しでも理解されたのではないかと感じています。

◇ ◆ ◇

本業とガイドの両立が大変

――苦労している点は。

〈ボランティアガイド〉

花房（はなふさ）　史勝（ふみかつ）さん

〈旅館組合〉

吉田（よしだ）　初子（はつこ）さん

〈酪　農〉

福地（ふくち）　智宏（ともひろ）さん

〈漁　業〉

富森（とみもり）　博（ひろし）さん

花房　ガイドで説明する時、例えば漁業の道具で、「これは何につかうの？」と聞かれても専門的なことが分からず苦労することがあります。

富森　私もガイドをやることもありますが、皆さん、本業との両立が大変だと聞いています。

福地　受け入れ先の酪農家を探すことに苦労しました。今年、始まったばかりということもありますけどね。

◇　◆　◇

町全体で取り組む意識が大事

――今後の課題や抱負は。

吉田　冬期間の受け入れを考えてみてはどうか。例えば野付半島まで雪道を馬車で走らせるとか。旅館組合としては、これからも喜んで泊まってもらうように真心を尽くし、努力していきます。

福地　受け入れする酪農家を増やしたいですね。そのためには推進部会のような組織を立ち上げることも必要では。受け入れ先が増えると、体験プログラムのメニューも増えます。体験する子供たちに喜んでもらうために、「見せられる酪農」を目指し、自分たちの環境整備にも力を入れ、酪農家全体のレベルアップを図り、酪農のイメージを良くしていきたいですね。

花房　ガイドとして、もっと勉強しなければ。今後は個人の旅行者のガイド役をやってみたいですね。時間に制約されずに。夢ですけどね。

富森　これからは、漁業者の若い人たちにも協力してもらいたいですね。一人でも多くの町民に協力してもらうことで、「町全体で取り組む」と言う町民一人ひとりの意識が大事で、このことがレベルアップにつながると思います。

今年の反省点…〈町エコ・ツーリズム協議会幹事会より・11月18日〉

▽ガイドがまだ不足している状況。増やす努力が必要。
▽サケの荷揚げ見学ではガイドが学習して対応しているが、漁業者としても仕事の空き時間での対応をしていきたい。
▽食体験では約五千人の利用があったが、商店街で「土産品が買えない」との声が寄せられた。
▽川下りなど新たな体験プログラムのメニューを増やす必要がある。
▽夏の酪農体験も良いが、冬も魅力があるので検討を。
▽通年を通した受け入れの充実を。特に冬期間の体験プログラムなどの検討が課題。
▽バスからバスの移動で街を歩くことが少ない。訪れた人々に街並みを記憶に残してもらうことも大切では。

通年での受け入れの充実を…

感謝の手紙 紹介

修学旅行で本町に訪れた子供たちから感謝の手紙が数多く寄せられています。このうち、4泊5日で本町に滞在した京都聖母学院小学校の児童(5年生)の手紙を紹介します。

またもう一度標津にいきたい

「私はサーモンフィッシングをはじめてしました。一回魚がひっかかったけどにげてしまいました。でも魚が思っていたよりとても大きくてびっくりしました。釣れなかったのは残念だけどとても楽しかったです。またもう一度いってみたいです」

〈木戸　麻友〉

◆　◇

サケのように学校生活を頑張る

「こんにちは。北海道から帰って、もうすぐ一カ月がたちます。でも漁港であった人々のこと、学んだことを忘れていません。一番心に残った話は、サケが四年をかけて成長し自分の産まれたところに帰ってくるという話です。私もサケのように学校生活をがんばります。本当にありがとうございました」

〈杉本　早弥〉

◆　◇

おもいっきり標津を楽しみました

「私は標津をおもいっきり、たのしみました。自然をいっぱいあじわって、サイコーにきもちよかったです。また、行きたいです」

〈池田　彩夏〉

町文化祭で華道教室の生徒の展示作品前で（十一月三日、あすばる）

vol. 31

ヌ・ラ・ン ひと

小野瀬 禮子 さん
（南6東1）
REIKO ONOSE

「生け花を見て和んでもらえれば」

「生け花を見て、皆さんが少しでも和んでもらえればと思っているんです」―。毎週、生涯学習センター・あすぱるのロビーに、ボランティアでその季節に合わせた生け花を展示している小野瀬さんは話します。

町内で華道教室を開いている小野瀬さんは、池坊北海道連合勝花展で、全道最高位を受賞した経歴を持つ腕前。

このボランティアは、あすぱるがオープンした平成八年から始めて今年で九年目。「自分の家で余った材料で生けていますから、ボランティアというよりも楽しんでやっています。あすぱるで花を生け込んでいる時、『いつもきれいな花を見せてもらって、ありがとう』などと声をかけられる時が何よりうれしいですね」。最近では「ツルメモドキ」や「ナナカマド」、「菊」などの花が展示され、人々の目を楽しましています。

また、平成三年から六年間、当時の中央公民館（現在の図書館）と、特別養護老人ホーム・標津はまなす苑にもオープンした平成五年から生け花を展示。さらに同苑のお年寄りに月に一度、ボランティアで生け花の指導も。「今では二十人近くが参加しているんです。『この歳になって、生け花ができるのは幸せ』などと皆さん生き生きと話しているんですよ。教えているというよりも良き話し相手、友達という感じですね」

「生け花を通して、人との出会いができたことが自分にとっての財産。花には表情があります。その時の感情で、同じ花でも違って見えます。そのためにもいつも穏やかな気持ちでいたいものです」

「今後は子供たちにも生け花を教えたい。生け花の歴史は五百六十年。国際化社会の中にあってこそ、日本の伝統文化を伝えていきたいですね」

新町民インタビュー ⑦

柴田直紀（しばたなおき）さん

「秘湯・川北温泉は最高ですね」

★今月は標津農協に勤務している柴田直紀さん（川北寿町・24歳）にインタビュー。

―出身地は。

出身地は静岡県磐田市。高校までは静岡県で、大学は道内・江別市の酪農学園大学に。今年四月から標津農協に勤務しています。

―仕事の内容は。

生産部振興課で家畜人工受精師として乳牛の人工授精の仕事を担当しています。

―町の第一印象は。

知床連山を背景にどこまでも広がる大地、すばらしい景色に感動しました。北海道にはこの大自然のイメージがあり、以前からあこがれていましたからね。

―住んで見ての印象は。

町の人は気軽に声をかけてくれて、温もりを感じますね。食べ物は魚貝類や山菜などとてもおいしいです。

また、秘湯・川北温泉は大好きです。乳白色の湯は珍しく、すばらしい景色を眺めながら入る温泉は何とも言えず最高ですね。

―趣味は。

映画鑑賞と魚釣り。この町に来て魚釣りを始めました。忠類川にも足を運びましたが、とてもきれいな川。来年はぜひサケを釣り上げたいと思っているんです。

―今後の抱負は。

自然や動物が大好きな自分。酪農家の皆さんに貢献できる人工授精師として頑張ります。

町民・オン・ステージ

My Dream vol.32

わ・た・し・の・夢

和泉 聖波（いずみ みなみ）さん
（標津小6年）

「絵本作家になりたい」

私は、小さい頃、お絵描きをするよりも絵本を読む方が好でしたが、そのうち、絵本の話より絵に興味を持つようになりました。学校で運動会や標小祭りのプログラムの表紙絵に選ばれたりして、少しずつ自信がついたり励みになりました。そしてマンガのキャラクターや話を考えるのがとても好きになりました。五年の時はマンガ家に、そして、今は絵本の作家になりたいと思うようになりました。

私は、今年の夏休みに一冊の本を買ってもらいました。それは『十三歳のハローワーク』という本で、絵本作家になるにはどうしたらいいかということが書いてありました。

私は、作品をかいて、友達や両親、知っている人に読んでもらい感想を聞いて、良かった所などをアイデアにすると良いことがわかりました。そして、絵本は、子供達に楽しさと元気を与える事が出来ると書いてあり、私もそう思いました。そういう事が仕事として出来るなら、こんな素敵な事はないと思いました。

絵本作家になるには、努力もいるし、才能も必要だと思いますが、頑張ってみたいと思います。

これが今の私の夢です。

◇

●次号は、北標津小学校の児童の「夢」を紹介します。

vol.32

若さでアタック

YOUNG MAN／WOMAN

「交通安全指導員で頑張っています」

本間 和美（ほんま かずみ）さん
（川北・22歳）

「標津町は、出身の湧別町と人口規模や基幹産業も同じ。街の景色も地元と似ているので、とても落ち着きます」と話す本間さん。

高校卒業後、町農協資材店舗に勤務し、経理を担当。

「就職して今年で四年目。これから新しいことにもチャレンジしていきたいですね」

仕事以外では、バレーボール、ソフトボールで選手として活躍するほか、野球部のマネージャーも。また、町交通安全指導員として、行事などで交通安全の啓発などにも積極的に取り組んでいます。

「色々な人と知り合えるので、とても勉強になります」

趣味は、カラオケ。「『モーニング娘。』など、ノリのある曲が大好きなんです」

達者なじいちゃんばあちゃん

Ji-chan Ba-chan

「体はまだまだ健康です」

白金 キヱ（しろがね）さん
（北1西3・85歳）

「今は何でも売っている時代だけど、捨てるのが嫌いでね。編み物が趣味なので、服などは自分で直して着ています。貧乏性なのかね」と笑いながら話す白金さん。

三十歳のころに当時千二百円で購入し、五十年以上愛用しているという自転車に乗って毎日ひまわり温泉に通ったり、畑で野菜やイモなどを作るなど、身体を動かしています。

また、肉類は一切食べず、水もポットに入れて持ち歩くなど、食事にも気を使っており「病院には一回も行ったことがないんですよ」

「以前に腰を悪くしてから腰は曲がっていますが、体はまだまだ健康。皆に迷惑をかけないように、このまま過ごしていけたらいいですね」

北海道遺産に「サケ文化」「野付半島」

自然や文化など次代に引き継ぎたい北海道の宝物を選定する「北海道遺産」の認定証授与式が十一月十二日、道庁赤レンガで行われました。

今回、北海道遺産構想推進協議会から認定を受けた二十七件のうち、本町では「サケ文化」と「野付半島と打瀬船」の認定証を受け取りました。

「サケ文化」については、北海道全域の認定ですが、産業はもちろん、生活や食文化、教育、観光と歴史を積み重ねてきた「鮭の町・標津町」が全道を代表して認定証を受け取ったもので、町の誇りであり、全道の中でも取り組みが大きく評価されていると言えます。

また、「野付半島と打瀬船」は、打瀬船による独特の漁法と日本最大の砂嘴（さし）が評価されたもので、別海町と一緒に本町が認定を受けました。

この選定により、消費流通活動など地域経済に弾みがつくほか、今後、永い歴史の中で受け継がれてきたサケ文化を掘り起こし伝承していくことが、本町の大きな役割となります。

これで本町としては、平成十三年の第一回選定分の「根釧大地の格子状防風林」（本町を含めた四町にまたがる認定）に続き、三つ目の認定に。このことは、本町が北海道を代表する資源に恵まれていることを示すもので、これをどう活かしていくかが今後の課題となっています。

「サケ文化」の認定証を受け取る佐賀淳悦標津漁協組合長

ステージで熱唱

第十二回しべつミュージックフェスティバルが十一月三日、あすぱるで開かれました。

町内の小中学生や高校生、女性コーラスグループなど八団体が参加。「中学生バンド」（写真）などのバンド演奏や吹奏楽、合唱などが披露され、会場は盛り上がりました。

会場にずらり３２４点の作品

第三十四回造形まつりが十一月十八日から二十六日までの九日間、あすぱるで開かれました。

町教育研究所の主催。町内の保育園から高校までの園児、児童、生徒のほか、教職員や北方四島の子供たちの美術作品の力作三百二十四点が会場に並び、会場を訪れた子供たちは興味深そうに作品に見入っていました。

Town News

35周年を迎えたとどわら太鼓

しべつとどわら太鼓保存会（千葉元会長）の創立三十五周年記念演奏会が十一月二十一日、町文化ホールで開かれました。

同保存会は昭和四十四年に創立以来、地域の郷土芸能として町内の祭りには欠かせない存在として活躍しています。

この日は、新しい半てんを身にまとい、新曲「龍心太鼓」を含めた六曲を披露。見事なバチさばきで、訪れた二百二十人の観客を魅了しました。

千葉会長は「世代交代を続けながら、これからも多くの人に伝えていきたい」と話しています。

統計功労で坂口さん 農林水産大臣表彰

このほど坂口宗光さん（浜古多糠・65歳）が統計功労による農林水産大臣表彰を受賞し11月19日、小田桐町長から表彰状が伝達されました。

坂口さんは、調査員として漁業センサス9回をはじめ世界農林業センサス、農業センサス、北海道農業基本調査など計34回もの農林水産統計調査に従事。また、国勢調査に8回従事するなど、各種統計調査にも積極的に従事した功績が認められました。

笹木さん秋の叙勲で「旭日双光章」に輝く

秋の叙勲で、笹木道雄さん（東川北・82歳）が「旭日双光章」を受章。十一月十九日、小田桐町長が同席する中、笹木さんに村井茂根室支庁長から伝達されました。

笹木さんは、昭和四十六年に町議会議員に初当選。以来、八期三十二年間にわたり、町の振興と福祉の向上などに尽力。この間、平成三年から昨年までの三期十二年間、同副議長に就任し、議会活動に献身。このほかにも数々の要職に就き、幅広い分野で活躍してきました。

笹木さんは、「このたびの受章は大変光栄です。これもひとえに長年にわたる町民皆様方の温かいご庇護（ひご）とお導きの賜。今後とも一層の精進を心掛けます」と受章の喜びを話しています。

教育委員に菅原さん、大屋さん

十一月一日、新しい教育委員に菅原睦美さん（川北桜ケ丘町・51歳）が、再任で大屋知行さん（南川北・55歳）が任命されました。

任期は四年間。教育委員は、教育行政の基本方針などを決定するための委員として、重要な役割を果たします。

菅原さんは「教育は興味のある分野。自分なりに勉強して、今まで町にお世話になっているので、少しでもお返しできれば」と、大屋さんは「町の教育行政の推進にお役に立ちたい」とそれぞれ抱負を話しています。

イクラ作りに挑戦

標津ふるさと体験塾（武山栄道塾長）では十一月六日、今年最後となる九回目の企画として、町文化ホールでイクラ作り体験と水産加工場の見学を行いました。

標津保育園や同幼稚園の園児、同小学校の児童とその親など四十六人が参加。イクラ作りでは、メスザケの腹からスジコを取り出し、網の上で卵をほぐす作業など、イクラの塩漬け作りに挑戦。

金田洸君（標津小四年）は「魚からスジコを取り出すところが楽しかった。イクラは思ったよりもやわらかかった」と話していました。

小学生がハタハタの人工授精体験

漁業資源を増やす取り組みを行っている町栽培漁業推進協議会では十一月十三日、標津漁港の活魚施設で、ハタハタの人工授精体験を開きました。

漁業に興味を持つきっかけにしてもらおうと初めて実施。

この日は、標津小の児童九人が参加。ハタハタのメスの腹から緑色や黄色などの卵を取り出し、約十九万粒に受精させ、ふ化器に卵を取り付けました。受精卵は海中に移され、来春にふ化する予定です。

園児がお年寄りに遊戯を披露

北標津ひまわり保育園の園児八人が十一月十九日、はまなす苑のお年寄りに遊戯を披露しました。

今年度で閉園となることから、園児の思い出づくりとして実施。

園児のかわいらしい遊戯に、お年寄りは顔をほころばせていました。

「運転中の携帯電話はやめてね」

「子供の一生懸命描いた作品は、きっと大人の心に伝わるはず」と、このほど薫別駐在所（杉本弘幸所長）が管轄内の小学生を対象に「交通安全ポスター作成コンクール」を実施しました。

コンクールには、忠類小と薫別小の児童28人が出品。最優秀の金賞には、花田美月さん(写真・忠類小6年)の「ケイタイ電話禁止」が選ばれました。

なお、出品された作品は、11月19日から30日まで、あすぱるで展示されました。

「つらい時は周りの人を見ること」

元冬季オリンピック・スキー選手の川端絵美さんによる講演会が十一月十日、あすぱるで開かれ、忠類小、薫別小中、北標津小中の学校の児童・生徒合わせて四十八人が参加しました。

道教育委員会の「道徳教育特別非常勤講師配置事業」で、町教育委員会の主催。

講演のテーマは「スキーを通して学んだこと」。川端さんは「自分はオリンピックでメダルは獲れなかったが、一緒に戦ってくれたコーチやスタッフで大きな金メダルをもらったと思っている」「つらい時は周りの人を見ること。もっとつらいことを乗り越えようとする人がいるはず。気持ちに余裕を持つことが心を強くする第一歩」などと子供たちに強く語りかけていました。

私たちは、地域を担当する民生委員・児童委員です

—— お気軽にご相談ください ——

このほど任期満了に伴う町民生委員・児童委員の改選があり、十二月一日付けで、二十一人が委嘱されました（氏名及び担当地区は次のとおり）。

同委員は、皆さんの生活や福祉・健康、育児・教育などについての心配ごとなどの相談を受け、その解決のためのお手伝いのほか、生活を豊かにするため、皆さんの声を行政や関係先に届けるパイプ役として活動します。また、主に児童問題に関わる主任児童委員もいます。

任期は、平成十九年十一月三十日までの三年間。個人のプライバシーは固く守られますので、お気軽にご相談ください。

氏名	住所	電話番号	担当地区
徳橋博人	茶志骨パイロット	2-2957	茶志骨・東茶志骨・茶志骨パイロット
金田紀子	住吉町	2-2280	住吉町・東浜町
小野瀬禮子	南6条東1丁目	2-2674	桜木町
音川光江	南5条西2丁目	2-2551	望ヶ丘町 双葉町の国道より山側
武田義昭	南1条西1丁目	2-3007	双葉町の国道より海側 鳩ヶ丘町・本町・栄町
高桑吉宣	北1条西2丁目	2-3344	緑町
工藤琴子	北4条西3丁目	2-3005	曙町
若尾周也	北7条西1丁目	2-2716	川上町・新川上町
畑中貞子	伊茶仁	2-2790	伊茶仁
陶山玲子	忠類	4-2520	忠類
梅木芳子	薫別	4-2039	薫別・崎無異・浜古多糠
栗原智彦	南1条西5丁目	2-3177	弥栄町・若草町
管野和子	北古多糠	4-2214	古多糠
木庭繁男	川北共栄旭町	5-2806	川北旭町(旧)
笹木龍栄	北標津	5-2629	北標津・西北標津
西田幸子	川北寿町	5-2148	川北寿町
山本祐一	川北桜ヶ丘町	5-2001	川北共栄町(旧)・川北桜ヶ丘町
滝本新一	東川北	5-2663	北川北・東川北
櫻井幸雄	西川北	5-2323	西川北・南川北
屋敷好子	川北共栄旭町	5-2032	町内全域・主任児童委員
菊池勝祀	北1条西2丁目	2-3228	町内全域・主任児童委員

12月の健康相談日程

●乳幼児相談
17日(金)
〔9時～10時・13時30分～14時30分／ひまわり〕
※午前の部～13ヵ月児　午後の部～4・7・10ヵ月児対象

●2歳児相談
17日(金)
〔9時～10時／ひまわり〕
※その他の健診・相談は個人通知します。

★お問い合わせは、保健福祉センター「ひまわり」（☎2－1515）まで。

町長の動静

（10月21日～11月20日）

【10月21日】
薫別老人憩の家「まんさく」落成式
【10月25日】
第７回標津町議会臨時会
【10月27日】
全国農地海岸保全協会理事会及び総会（東京都）
【10月28日】
政策研究会（札幌市）
【11月1日】
教育委員会委員辞令交付
【11月６日】
中川経済産業大臣への要望会（釧路市）
【11月７日】
小池沖縄及び北方対策担当大臣への要望会（根室市）
【11月10日】
北方領土対策中央要請（東京都）
【11月11日】
北海道における自衛隊削減に係る要望（東京都）
【11月15日】
道森林管理局帯広事務所管内国有林野所在市町村長会議（帯広市）
【11月19日】
笹木道雄氏への旭日双光章支庁長伝達、坂口宗光氏への農林水産大臣表彰伝達
【11月20日】
武部自民党幹事長への要望会（釧路市）
（以上主なもの）

BOOK ROOM

今月のおすすめ 新刊

「パラサイト社会のゆくえ―データで読み解く日本の家族―」
山田昌弘著　筑摩書房

親に基本的な生活を依存しリッチに暮らす「パラサイト・シングルの時代」から5年、そこには大きな変化が起きている。今はリッチではなく自立したくても自立できない貧乏パラサイトが増えているそうです。豊富な図表を使い、家族の現状を状況をわかりやすく解説した好著。

「本の本音」
高橋誠ほか著　生活情報センター

これからの時代をどう生きるのか、どこを見ても手がかりが見えてこない。本書は、政治・経済・宗教・思想・ネット社会・教育・人生と老いなどのテーマについて「論客」たちが語ったインタビュー集。

今月の特集：おもしろい本ないかな？

道東に冬が訪れました。外は寒いし道路は滑る。夜は長いし景気も悪い。というわけで、家にいて本を読んでいるのが一番。安全でお金もかからない。そこで今月は1日で読める「新書版の本」を特集します。1日で読めるとはいっても書いている人は一流で、読み応えもあるのです。冬こそ読書です。

《新着図書紹介》

「子育て大論争―子どもは母親から引きはがせ―」
田中喜美子著　毎日新聞社

「生きづらい〈私〉たち―心に穴があいている―」
香山リカ著　講談社

「武士道の逆襲」
菅野覚明著　講談社

「小児がんの子どもたちと生きる」
毎日新聞小児がん取材班著　毎日新聞社

「言葉の常備薬」
呉智英著　双葉社

「思索紀行―ぼくはこんな旅をしてきた―」
立花隆著　書籍情報社

★図書館　☎ 2-2074

12月のごみ収集日

一般廃棄物収集区域（祭日は休みです）〈有料〉	可燃ごみ	不燃ごみ 粗大ごみ	資源ごみ（空缶・びん・ペットボトル・トレー・新聞・雑誌）	資源ごみ（容器包装(紙) 容器包装(プラ) 紙パック・段ボール）
川北市街・伊茶仁・忠類・浜古多糠 薫別・崎無異・古多糠	水・土	4日(土) 18日(土)	1日(水) 15日(水) 29日(水)	8日(水) 22日(水)
新川上町・若草町・川上町・栄町 緑町・弥栄町・曙町	月・木	2日(木) 16日(木)	13日(月) 27日(月)	6日(月) 20日(月)
本町・鳩ヶ丘町・双葉町・望ヶ丘町・桜木町・住吉町・東浜町	火・金	3日(金) 17日(金)	14日(火) 28日(火)	7日(火) 21日(火)

★ごみは指定された日に指定された場所へきちんと出しましょう。

スポーツ

☆12月のスポーツ☆

■5日(日)
ソフトバレーボール大会
〔9時30分～総合体育館〕
第23回防犯少年剣道大会・第28回東西対抗剣道大会
〔9時～鳩ケ丘体育館〕

■11日(土)
完全学校週5日制開放
〔9時～総合体育館〕

■12日(日)
第23回バレーボールリーグ戦大会決勝トーナメント
〔9時～総合体育館〕
第28回管内中学校剣道新人戦大会
〔9時～鳩ケ丘体育館〕

■19日(日)
第8回少林寺拳法標津支部大会
〔9時～鳩ケ丘体育館〕

統計調査

「工業統計調査」にご協力を

製造業を営む事業所を対象として、工業統計調査が12月31日現在で実施されます。

後日、調査員が調査票の記入のお願いに伺いますので、該当する事業所は、調査票の記入・提出についてご協力をお願いします。

★お問い合わせは、担当調査員または企画振興課（担当：阿部）まで。

し尿

し尿の汲み取りの申込みは忘れずに

1月のし尿の汲み取り実施地域は次のとおりです。汲み取りを希望される方は忘れずにお申込みください。

■**汲み取り実施地域**
川北全域、北標津、西北標津

■**申込期限**　12月27日(月)

★申込み・お問い合わせは、住民課まで。

戸籍の窓口から

（10月11日～11月10日届出分）

■ご結婚おめでとう

森　　孝さん・中村美由紀さん（新川上町）
長　　亘さん・瀬川　昇子さん（薫　　別）

■お誕生おめでとう

		〈保　護　者〉
塩沢	紗英（さえ）ちゃん（共栄旭町）	亙　・奈緒美
戸田	大貴（ひろき）くん（川 上 町）	智　之・寛　子
工藤	涼音（すずね）ちゃん（薫　　別）	浩　二・順　子
弓場	秋良（あきら）くん（南 川 北）	誠　・恵美子
北井	和花（わか）ちゃん（古 多 糠）	吏　・美　加

■おくやみ申し上げます

尾　山　竹　雄さん（曙　　町）　５５歳
西　山　吉　二さん（望ヶ丘町）　８０歳
竹　下　恵　隆さん（栄　　町）　６４歳

寄付・寄贈
ありがとうございました

●北方領土返還運動推進資金として町に――
・ゼンセン同盟

●体育文化振興基金として町に――
・西山一成さん

●町社会福祉協議会に――
・吉田初子さん　・尾山圭吾さん（札幌市）
・西山一成さん　・竹下カヨさん
・聖友標津支所　・町商工会女性部

●はまなす苑に――
・本村チセさん（中標津町）
・町商工会女性部

●標津病院に――
・瀬戸千代栄さん

●図書館に――
・テクテク・コンピュータ・サービス

●ポー川史跡自然公園に――
・井上弥貴さん

医療

薬の受け取り方法が変わります

標津病院では、12月1日から、院外処方せんを発行します。これまで病院内から薬を受け取っていただきましたが、院外処方せんが交付された場合は、患者がその処方せんを持参し保険薬局から薬を受け取ることになります。

院外処方せんの有効期限は発行日から4日間です。期限を過ぎると薬を受け取ることができませんのでご注意ください。

■町内の保険薬局
・しべつファーマシーしべつ薬局（北1西5）
・フロンティア薬局標津店（同）

★お問い合わせは、同病院（担当：村山）まで。

漁業

マツカワを釣った方はご連絡を

町栽培漁業推進連絡協議会では、近い将来の漁業資源づくりを目指し、平成13年からマツカワ稚魚の放流を行っています。

放流したマツカワにはいつどこで放流したものかが分かる標識が付けられており、今後の貴重なデータとなります。

このことから、マツカワを釣った場合は、標津漁協、町（水産課）、水産指導所のいずれかへご連絡をお願いします。

■連絡いただきたい内容
・標識の色、記号
・釣った月日、場所
・大きさ（全長、体重）

－同協議会－

＊年末・年始の休業のお知らせ＊

■役　　場（☎ 2-2131）
12月31日から1月5日まで閉庁
※急用については随時受付します。

■標津病院（☎ 2-2111）
12月31日から1月5日まで休院
※急患は随時受付けします(事前にご連絡ください)。

■保健福祉センター（☎ 2-1515）
12月31日から1月5日まで休館
※在宅介護支援センター(☎2-1288)は随時電話受付します(標津病院に転送されます)。
※「ひまわり温泉」は、12月30日から1月6日まで休み

■生涯学習センター（☎ 2-2900）
12月28日から1月5日まで休館

■川北生涯学習センター（☎ 5-2224）
12月28日から1月5日まで休館

■総合体育館（☎ 2-3112）
12月27日から1月5日まで休館

■川北体育館（☎ 5-2224）
12月28日から1月5日まで休館

■図書館（☎ 2-2074）
12月30日から1月5日まで休館

■キラリ児童館（☎ 2-2353）
12月28日から1月6日まで休館

■川北児童館（☎ 5-2057）
12月28日から1月6日まで休館

■北方領土館（☎ 2-2422）
12月30日から1月5日まで休館

■し尿汲取り
12月30日から1月5日まで休み

■ごみ収集
12月31日から1月5日まで休み

■町営バス
12月31日から1月5日まで休み

◇　　◇

冬期間のため、次のとおり休館・休園します。

■サーモン科学館（☎ 2-1141）
12月1日～1月31日まで

■ポー川史跡自然公園（☎ 2-3674）
11月24日～4月28日まで

水道

水道凍結にご注意を

お出かけの際や就寝前には必ず水を落とすなど、水道の凍結に注意しましょう。

■もし凍った時は…

蛇口にタオルや布をまいて熱湯をかけてください（水抜きのパイプ部分は凍結しないので、熱湯をかけないでください）。

それでも水が出ない場合は、上下水道課または次の業者に連絡してください。

▷連絡業者

・大標設備工業(株) ☎ 2-3332
・出口設備(有) ☎ 2-2479
・更谷商会 ☎ 5-2036
・奥商会 ☎ 5-2021

－上下水道課－

除排雪

除排雪作業にご協力ください

今年も積雪の時期を迎えますが、除排雪作業をより効率的に行うため、次のことについてご協力をお願いします。

■路上駐車の禁止。
■除雪車が作業を終了した車道及び歩道には雪を出さない。
■子供には道路周辺でのソリ遊びはさせない。
■屋根の雪が落下しやすい場合には、雪止めなどの措置を施す。
■個人の重機を使用して除雪する場合は、通行の妨げとなるため、車道や歩道に雪を積み上げないよう注意してください。

★お問い合わせは、建設課（担当：池田）まで。

環境・防犯

スパイクタイヤによる粉塵を防止しましょう

スパイクタイヤの使用は、健康の保護と生活環境の保全を目的として、法律及び道条例により規制されています。

スパイクタイヤによる粉塵の発生を防止するため、ドライバーの皆さんのご協力をお願いします。

なお、今冬からは、金属類をタイヤの溝に装着したものもスパイクタイヤに該当しますので、特にご注意願います。

★お問い合わせは、住民課（担当：小野瀬、吉田）まで。

地震から身を守るために

大きな地震が発生した場合、被害を最小限に抑えるためには、一人ひとりが慌てずに適切な行動をとることが大切です。

そのためには、日頃から、地震が起きたときに身を守るための心構えを持ちましょう。

■地震から身を守るための10カ条

①まずは自分の身を守る。
②すばやく火の始末。
③非常脱出口を確保する。
④火が出たらまず消火。
⑤外に逃げる時は慌てずに。
⑥狭い路地、塀ぎわ、崖や川べりに近寄らない。
⑦山崩れ、崖崩れ、津波などに注意する。
⑧避難は徒歩で、荷物は最小限にまとめる。
⑨みんなが協力し合って応急救護。
⑩防災無線や携帯ラジオなどで正しい情報をつかむ。

－標津消防署－

標津病院

新しい医師が着任

村上英嗣（むらかみひでつぐ） 医師(外科)

－標津病院－

講演会

元島民が語る「北方領土」講演会

■日　時　12月11日(土)
　午後1時30分～午後3時
■場　所　役場2階集会室
■内　容
　元島民による引揚げ当時の様子や領土問題に関する講話

★お問い合わせは、千島歯舞諸島居住者連盟標津支部（☎2-3144）まで。

郵便局

お年玉付き年賀はがき発売中

郵便局では、年賀状の引受けを12月15日から実施します。年賀状を元旦にお届けするため、なるべく12月24日までにお出しください。また、確実にお届けするために、郵便番号、番地、肩書きまで正確にお書きください。

なお、年賀状を買った人にも当たる「自分にお年玉」、年賀状を早く出せば得をする「早出しは三文の得」キャンペーンを実施します。

★お問い合わせは、お近くの郵便局まで。

みんなで加入し、みんなで支える“国民年金”

国民年金は、あなたが主人公です

国民年金保険料の納め忘れはありませんか

今年もあと一ヶ月を残すのみとなりました。今年度分の国民年金保険料の納め忘れがないか、今一度ご確認ください。

納め忘れがあると、老後に受ける年金が減額されたり受けられない場合もあります。また、傷害基礎年金や遺族基礎年金などについても受けられなくなることがありますので、忘れずに納めましょう。

なお、納付をお忘れの方には、釧路社会保険事務所の「国民年金推進員」が各ご家庭を訪問します。

※納めた保険料は、年末調整や確定申告の際に申告すると、全額社会保険料控除の対象となります。

こんなときは届け出を（年金を受けている人の届け出）

こんなとき…	提出書類
誕生日がきたとき	年金受給者現況届
氏名を変えたとき	年金受給者氏名変更届
住所を変えたとき	年金受給者住所変更届
年金の受け取り先を変えるとき	年金受給権者支払機関変更届
年金を受けている人が亡くなったとき	年金受給権者死亡届
年金証書をなくしたとき	年金証書再交付申請書

社会保険事務所相談開設日

▷**日時**　12月14日(火)～15日(水)
1日目/午後1時～午後5時・2日目/午前9時～午前11時30分

▷**場所**　中標津経済センター

※ご本人や配偶者の年金記号番号、加入期間などを調べてお越しください。

★相談・問い合わせは、お気軽に福祉課（国民年金担当：杉本）まで。

相談

人権についての相談「特設人権相談所」へ

■**日　時**
12月8日(水)　午後1時～午後4時

■**場　所**　役場2階会議室

■**相談内容**
家庭問題、夫婦、親子、金銭貸借、いじめ、体罰、名誉信用、借地借家、その他心配事など

■**相 談 員**
人権擁護委員、法務局職員

■**費　用**　無料

－釧路地方法務局根室支局－

届出

働いている調理師の皆様へ

調理業務に従事している調理師は、調理師法により2年ごとに12月31日現在の調理従事場所などを届出することとなっており、今年度は届出が必要な年となります。

■**届 出 先**
中標津保健所（☎01537-2-2168）または事務取扱所（(有)レストラン河亭内・☎01537-2-2722）

■**提出期限**　平成17年1月15日

－中標津保健所－

税

夜間・休日収納窓口をご利用ください

町では、次のとおり「夜間・休日収納窓口」を開設します。

日中、仕事が忙しくなかなか納めに来ることができない方などのご利用をお待ちしています。

■**今月の開設日程**

▷夜間：12月24日(金)・27日(月)
午後5時15分～午後8時

▷休日：12月25日(土)・26日(日)
午前9時～午後5時

■**納入場所**　役場出納室

★お問い合わせは、税務課・福祉課・建設課・上下水道課まで。

12月は道税納税推進強調月間です

道では、12月を「納税推進強調月間」として、滞納整理の促進に努めます。暮らしを支える道税の納税にご理解とご協力をお願いします。

■**休日・夜間納税窓口**

▷休日：12月12日(日)
午前9時～午後5時

▷夜間：12月16日(木)
～午後9時

■**納入場所**・根室支庁税務課

★お問い合わせは、根室支庁税務課（☎0153-24-5466）まで。

募集

自衛官募集中

■**募集種目**　自衛隊生徒

■**応募資格**
中卒（見込み含む）以上17歳未満

■**受付締切**　平成17年1月11日

■**試 験 日**　平成17年1月15日

★応募・お問い合わせは、中標津募集事務所（☎01537-2-0120）まで。

まちの声…

220

「こんにちは。ルークです」

デリールークさん Luke Dilley
北4西3〈英語指導助手（AET）〉

こんにちは、私の名前はルークです。私は小学校と中学校のALTとして働いています。二十三歳でイギリスのスコットランド出身。日本に来たのは去年の八月で、この町に初めてきたときに、その美しい景色を目の当たりにして、とてもうれしく思いました。

それでは、皆さんによく聞かれることにお答えします。

〈どうして日本に来たの？〉

私は、1997年にホームステイ事業で一度日本を訪れました。そのときはたった二週間の滞在でしたが、とても日本が好きになり、また来たいといつも思っていました。大学時代に英語教師になりたいと志願し、幸運なことに採用されたのでした。

〈日本に来る前は何をしていたの？〉

グラスゴー大学の学生でした。四年間海洋生物学を学び、その最後の年に日本に来ることを決意。海洋生物学と英語を教えることは全く異なる分野ですが、何か違うことをやってみたかったのです。そして可能な限り新しいことを経験したいのです。

〈日本語を話したり書いたりできるの？〉

日本語は話すことも書くこともできませんが、ただいま勉強中です。日本語はとても難しいことが分かりましたが、その分生徒たちが英語を勉強しているときどのように感じているかが分かるのです。

〈日本の食べ物は好き？〉

日本の食べ物は好きですが、刺身と寿司、納豆、豆腐が苦手です。そばやうどんなどの麺類や焼き肉は好きです。

〈趣味は何？〉

色々なことをするのが好きですが、特にアイスホッケーが好きです。根室地方で活動するチームに所属していて、そこでプレイできることがとてもうれしいのです。それ以外ではスキーやスノーボードなどをやりますがまだまだ初心者。またキャンプやウォーキングなど、アウトドア活動も好きです。

以上ですが、どうか皆さん私を見かけたら「ハイ、ルーク」と声をかけてくださいね。

☆標津町民憲章☆

（昭和46年11月3日制定）

◇健康で働き楽しい家庭をつくりましょう。
◇自然を愛し美しい郷土をつくりましょう。
◇たがいに助け合い暖かい社会をつくりましょう。
◇心を豊かにし文化を高めましょう。
◇子どもの夢を育て平和な町をつくりましょう。

新年号の表紙を飾る酉年生まれ35人を募集中！

早いもので今年もあと一カ月で二〇〇五年を迎えます。そこで「広報しべつ」では、恒例となった年男年女の方々に新年一月号の表紙を飾ってもらおうと考えています。

昨年に引き続き三十五人の年男年女の方々を予定。写真サイズは二・五㌢四方。写真はこちらで撮影します。

来年の干支は酉とり年です。酉年の皆さん、ぜひ表紙を飾ってみませんか！。自薦他薦を問いません。希望者は企画振興課まで。人数が満たない場合には、職場や自宅にお伺いし、撮影をお願いすることもあります。その際には喜んでご協力をよろしくお願いします。

（H）（M）

1月の運転免許更新時講習会

優良運転者で、更新手続きを終了した方のみ受講できます。

■日　時　1月11日㈫13時30分～
■場　所　あすぱる
★お問い合わせは、住民課まで。

町内の交通事故

・人身事故	1件	(11)
・負傷者	1人	(18)
・死亡者	0人	(0)
・物損事故	18件	(150)

◇平成16年10月1日～10月31日まで
（　）は累計

人のうごき

・人口	6,244人	(+ 5)
・男	3,043人	(+ 4)
・女	3,201人	(+ 1)
・世帯数	2,378世帯	(− 1)

◇平成16年11月1日現在
（　）は前月比

発行日／毎月1日　編集・発行／標津町役場 企画振興課（広報統計担当）
〒086-1632 北海道標津郡標津町北2条西1丁目

・標津町ホームページ　http://www.shibetsutown.jp/　　・お問い合わせ　shibetsu-people@shibetsutown.jp